

三用小学校：国際科に関する評価（r6）①

国際科に関わる評価結果 学校評価より抜粋

令和6年度 1学期

学期に1回以上、外国の人や地域の方など、様々な人と関わり、学ぶことができたとする児童を全校の80%以上にする。	
自己評価	A:児童アンケートの肯定的評価96.9%

学期に1回以上、外国の人や地域の方など、いろいろな人と関わる機会を設定する。	
教員評価	A:どの学年とも設定できた

※6月に国際理解の会を開催し、ALT よりアメリカの文化等についてお話をいただいた。また、国際交流会では留学生が2名お越しいただき、自国（スリランカ、パキスタン）の文化や風習を教えていただいた。その後、低・中学年はともに遊ぶなどの交流を行った。高学年は自己紹介等を英語で行うなどして触れ合うことができた。いずれも児童は臆せず活動ができている。

外国の人や地域の方など、様々な人と関わり学んでいる。				
	すごくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
児童アンケート	73.4%	23.4%	1.6%	1.6%
保護者アンケート	23.2%	41.1%	28.6%	7.1%

※保護者アンケートでは、前回（令和5年度後期）の結果に比べて肯定的評価が14.3%増えた。むしろ、まだ十分に高いものではないが、一定程度意識の定着が見られつつあると言える。継続して、HP、学校だより、学年だより等で学校での交流の様子等を知らせるとともに、様々な機会や場で活動等をお知らせし、理解を得るようにしていく。

※第1回学校運営協議会（5月開催）において、今年度の取組内容を共有した。過去にはない取組を継続していることに評価いただいた。この地域は国際大学と近隣にあることから、益々連携のとれた活動が出来るよう示唆をいただいた。